

# 疾患特異的マクロファージの多様性

Functional diversity of various disorder-specific macrophage

日時：2021年9月10日(金)

17:30~19:00

※Zoom ミーティングIDは各分野に通知します

## 佐藤 荘 教授

Takashi Sato, Ph.D.

東京医科歯科大学 医歯学総合研究科(医)  
生体環境応答学講座 免疫アレルギー学分野



最近の免疫学のトピックの1つとして、M1・M2マクロファージが挙げられる。しかし、私たちはマクロファージはM1・M2ではなく更に詳細なサブタイプに分かれると仮定して研究を行った。その結果、アレルギーに関わるサブタイプ (Satoh *et al.* Nat Immunol 2010)、またメタボリックシンドロームに関与するサブタイプ (Satoh *et al.* Nature 2013)、線維症の発症に関わる新規サブタイプ (Satoh *et al.* Nature 2017)とその細胞が誘導される際の非免疫系細胞についての研究(Fukushima\*, Satoh\* *et al.* Immunity 2020)を報告してきた。これらの研究から、現在私たちは病気ごとの“疾患特異的マクロファージ”が存在している可能性を考えており、これらを標的とした創薬は、その疾患特異性の高さから、副作用の少ない創薬応用につながることを期待される。

【参考文献 (\*筆頭著者、#責任著者)】

1. Fukushima K\*, **Satoh T\***#, Akira S#, *et al.* Dysregulated expression of the nuclear exosome targeting complex component rbm7 in nonhematopoietic cells licenses the development of fibrosis. *Immunity* 52:542-566, 2020.
2. **Satoh T\***, Akira S, *et al.* Identification of an atypical monocyte and committed progenitor involved in fibrosis. *Nature* 541:96-101, 2017.
3. **Satoh T\***, Akira S, *et al.* Critical role of Trib1 in differentiation of tissue-resident M2-like macrophages. *Nature* 495:524-528, 2013.
4. **Satoh T\***, Akira S, *et al.* The JMJD3-IRF4 axis regulates M2 macrophage polarization and host responses against helminth infection. *Nat Immunol* 11:936-944, 2010.

【コーディネーター】 感染制御学分野 教授 勝二 郁夫

【主催】 シグナル伝達医学研究展開センター

【連絡先】 研究支援課研究企画係 Tel: 5195, E-mail: k9shien@med.kobe-u.ac.jp